

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業(実施状況・効果検証)

単位:円

No	補助・単独	交付対象 事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	計画上の 総事業費	総事業費 (実績額)				効果検証	
									国庫 補助額	交付金 充当額	その他		
合計								457,576,000	402,453,999	2,330,000	376,282,000	23,841,999	
1	単	防災活動支援事業	住民課	①災害が発生し避難所を開設する場合、避難所の3密(密閉、密集、密接)回避や衛生対策を徹底し、感染症対策に万全を期するために整備を行う。 また、公共施設等へ衛生用品等を配備し、感染拡大防止に努める。 ②避難所、公共施設へのマスク、消毒薬等の整備に係る経費 ③自主避難所(中央公民館、三加和公民館)、役場本庁、総合支所	R2.6	R3.3	14,158,000	10,694,738		10,694,738		対象 2施設 災害時用の衛生用品、パーテーション購入、自主避難所への防災倉庫設置等を実施した。発熱チェックや距離確保等の感染防止対策に効果的であった。	
2	単	社会システム維持のための衛生確保事業	住民課	①社会生活を維持するために必要な、医療関係・介護関係・子供関係・宅配関係・清掃関係等の事業従事者の感染防止、予防策に必要な衛生備品を導入・配布し支援する。 ②衛生備品(非接触体温計、消毒液、ハンドソープ等)の購入に係る経費 ③医療機関3、歯科医院4、介護施設17、障がい者施設18、保育所等5、宅配業2、ごみ収集等1【町内50事業者】	R2.6	R2.9	1,760,000	977,130		977,130		対象 50施設 町内の医療機関、介護施設、保育所等に衛生用品を配布したことで感染防止に効果的であった。	
3	単	安心安全な農産物の流通確保事業	住民課	①感染拡大防止及び感染時対策に必要な各種資材を集荷・選果施設に配置し、安心安全な農作物の流通確保を図る。 ②感染予防、感染時防除対策に必要な資材(マスク、消毒液、防護服等)の購入に係る経費 ③集荷・選果施設(3箇所)	R2.6	R2.12	811,000	809,270		809,270		対象 2施設(2施設より各集荷・選果場へ配布) 町内の農業関係施設に衛生用品を配布したことで感染を防止し、農作物の流通を確保した。	
4	単	小中学校への体温計配布事業	学校教育課	①非接触型の体温計を各教室(1個)及び保健室に配布し、児童・生徒の体調管理に資するとともに、感染拡大防止を図る。 ②非接触型体温計の整備に係る経費 ③町立小中学校	R2.6	R2.6	466,000	413,600		413,600		配布個数 47個 毎朝登校時の検温、及び体調不良時の検温等に活用することができ、感染拡大防止に効果的であった。	
5	単	公共的空間安全・安心確保事業	住民課	①不特定多数の者が多く来庁する役場や公民館にサーマルカメラを整備し、感染の疑いがある発熱者を早期に発見することで、感染拡大の防止に取り組む。 また、庁内感染予防として、衛生器具を配備し、適度な湿度管理を行うとともに、音響設備を整備し、ソーシャルディスタンスの確保に努め、感染拡大防止対策を図る。 ②サーマルカメラ、空気循環式紫外線洗浄機、非接触型タブレット検温機器、音響機器の購入経費等 ③役場本庁、総合支所、中央公民館、三加和公民館	R2.6	R3.3	6,860,000	5,187,642		5,187,642		配布個数 12個 役場・公民館等の施設出入口にサーマルカメラ、持ち運び可能なタブレット型カメラを設置した。 各施設の通常利用時や各種事業実施時の発熱チェックに効果的であった。	
6				欠番(事業取下げ)				0		0			

単位:円

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	計画上の 総事業費	総事業費 (実績額)				効果検証
									国庫 補助額	交付金 充当額	その他	
7	単	図書館パワーアップ事業	社会教育課	①町図書館の蔵書を増やすとともに、蔵書情報のシステム化による貸出し体制を強化（検索・予約・手続きの簡素化等）することで、在宅時間を読書で有意義に過ごしてもらうことによる町民の精神的安定効果や、感染拡大防止のための外出抑制につなげる。 ②蔵書情報のシステム化等に必要な機器整備、書籍購入に係る経費 ③中央公民館、三加和公民館	R2.6	R3.3	1,582,000	1,533,037		1,533,037		蔵書711冊を増加。また、図書管理をシステム化するため、図書管理ソフトやパソコン等を導入。貸出についてもシステム化を行い、簡易化を図ったことで、利用者の図書室滞在時間を減らすとともに、在宅時間を読書で有意義に過ごしてもらうことによる町民の精神的安定効果や感染拡大防止のための外出抑制を図れた。
8	単	病院事業会計繰出金(地域の感染状況を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業)【1次補正分】	町立病院	①診療体制の確保や院内感染を防止するため。 ②病院事業会計に繰り出し、感染拡大防止に必要な機器等の整備に要する費用を交付対象経費とする。 ③和水町立病院	R2.6	R3.3	11,773,000	11,750,000		11,750,000		人口呼吸器等を購入。人工呼吸器を購入することにより、新型コロナウイルス感染患者に対応することが可能になった。また、マスクや消毒液等の消耗品費を購入することによりコロナウイルスの感染拡大防止が図れた。
9	単	公共的空間安全・安心確保事業(特別養護老人ホーム事業会計繰出金)【1次補正分】	町立特別養護老人ホーム	①面会制限に伴う遠隔面会体制の強化や施設における3密(密閉、密集、密接)回避、衛生対策を徹底し、感染症対策に万全を期するために整備を行う。 ②特別養護老人ホーム事業会計に繰り出し、感染拡大防止に必要な機器等の整備に要する費用を交付対象経費とする。 ③町立特別養護老人ホーム	R2.8	R3.1	2,075,000	2,074,612		2,074,612		面会による感染拡大を防ぐため、家族等の施設への出入りを制限し、パソコンを用いてのオンライン面会を実施した。施設からの発生は0名となっている。
10	単	和水町新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援金	商工観光課	①国の「持続化給付金」の対象とならない中小企業者等(個人事業主含む)のうち、売上が前年同月比で20%以上～50%未満減少している事業者に対して支援金を交付する。 ②1事業者あたり10万円を交付する経費 ③町内事業者	R2.6	R3.3	2,300,000	2,300,000		2,300,000		新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の事業継続のため支援金を定額給付し事業継続の支援に繋がった。 23事業者 2,300,000円
11	単	和水町新型コロナウイルス感染症対策生活応援商品券交付事業	商工観光課	①コロナウィルス感染症対策による消費の低迷からの脱却のため、全町民に対し商品券を交付し、町内の商店等の売上の向上を図り、町経済の発展に帰する。 ②商品券の作成・配布、事業者への交付に要する経費 ③全町民	R2.6	R3.2	53,418,000	49,916,235		49,916,235		令和2年6月1日現在の和水町住民登録者9,772人を対象に、世帯主宛に送付した。使用期間を令和2年7月1日から令和2年12月31日までとし町内の登録店舗126店舗のうち99店舗で使用された。交付総額47,668,000円が使用され、町内の経済が活性化された。
12	単	大学生等生活応援給付金	健康福祉課	①収入減による親からの仕送り困難、または学生本人のアルバイト離職などによる学費や生活資金などの生計不安をできるだけ解消できるよう、生活応援金を支給する。 ②1人あたり10万円を交付する経費 ③大学生等を扶養する保護者で和水町内に居住し、かつ住民基本台帳に記載されているもの。	R2.6	R2.9	23,044,000	16,027,690		16,027,690		令和2年6月1日時点において大学生等を扶養する保護者に対し、学費又は生活資金の生計不安を抱えている世帯への経済負担の軽減を解消できるよう支援ができた。 大学生等1人につき10万円×160人(実績)

単位:円

No	補助・単独	交付対象 事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	計画上の 総事業費	総事業費 (実績額)				効果検証
									国庫 補助額	交付金 充当額	その他	
13	単	高校生生活応援 給付金	健康福祉課	①国の支援である子育て臨時特別給付金が高校1年生まで支給されることを鑑み、子育て臨時特別給付金の支給対象とならない高校生の世帯を対象に支援を行い、経済負担の軽減を図る。 ②1人あたり1万円を交付する経費 ③対象学生を扶養する保護者で和水町内に居住し、かつ住民基本台帳に記載されているもの。	R2.6	R2.9	1,644,000	1,487,800		1,487,800		令和2年6月1日時点において高校生を扶養する保護者に対し、経済負担の軽減を図ることを目的に支援ができた。 高校生1人につき1万円×146人(実績)
14	単	学校再開に伴う 感染症対策・学 習保障等に係る 支援事業	学校教育課	①小中学校等における衛生対策に必要な機器を整備し、感染拡大防止を図る。 ②衛生対策機器(空気循環式紫外線清浄機)の購入 ③町立小中学校4校、保育園4園、学童保育施設1施設	R2.8	R2.12	4,950,000	4,900,500		4,900,500		導入台数 55台 浮遊ウイルス除去効果が関係機関において認められている装置を教室、保健室、及び職員室に配置することで、児童・生徒及び教職員の安心・安全な環境を保つことができています。
15	単	遠隔・オンライン 学習の環境整 備、GIGAスク ール構想への支 援事業(タブレット 端末の整備)	学校教育課	①国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台端末の実現(感染症発生等に伴う臨時休校時における学習機会の確保) ②児童生徒用タブレット端末の1人1台整備に係る整備 ③町内小中学校4校	R2.8	R3.3	34,190,000	29,940,480		29,940,480		児童生徒及び教師用端末の整備 740台 GIGAスクール構想の実現に向けた町内の小学校児童1人1台端末の整備等を行い、臨時休業時のオンライン授業のための環境整備ができた。また、新たな時代に相応しい教育の実現が図られた。
16	補	学校保健特別対 策事業費補助金 (学校再開に伴う 感染症対策・学 習保障等に係る 支援事業に限る)	学校教育課	①小中学校における3密対策や衛生対策に必要な資材を整備し、感染拡大防止を図るとともに、新型コロナウィルスの影響により生じた負担の軽減を図る。 ②学校再開に伴う感染症対策・学習機会確保等の取組みに要する経費 ③町立小中学校4校	R2.9	R3.1	4,000,000	4,000,000	2,000,000	2,000,000		対象 町内小中学校4校 小中学校における3密対策や衛生対策に必要な資材を整備することで、感染症対策・学習機会の確保が図れた。
17	単	修学旅行キャン セル料支援事業	学校教育課	①新型コロナウイルス感染症対応のため修学旅行キャンセル料が発生した場合の支援 ②修学旅行のキャンセル料 ④町立中学校1校	R2.9	—	580,000	0		0		修学旅行が予定通り実施できたためキャンセル料は発生しなかった。
18	単	遠隔・オンライン 学習の環境整 備、GIGAスク ール構想への支 援事業(ウェブカ メラの整備)	学校教育課	①学習機会の確保(臨時休校等の期間中における切れ目ない学習環境の提供) ②オンライン授業のためのウェブカメラの購入費用 ③町内小中学校4校	R2.9	R2.11	385,000	370,700		370,700		オンライン授業実施のためのウェブカメラを学級数分購入。臨時休業時のオンライン授業のための環境整備ができた。
19	単	遠隔・オンライン 学習の環境整 備、GIGAスク ール構想への支 援事業(無線アク セスポイントの 整備)	学校教育課	①小中学校における3密対策、学習機会の確保のため、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業の対象外である特別教室への無線LAN環境の整備を行う。 ②特別教室への無線アクセスポイントの設置 ③町内小中学校4校	R2.9	R3.2	3,458,000	3,168,000		3,168,000		特別教室等に無線アクセスポイントを設置することにより、3密対策としての分散授業に対応できる環境整備ができた。

単位:円

No	補助・単独	交付対象 事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	計画上の 総事業費	総事業費 (実績額)				効果検証
									国庫 補助額	交付金 充当額	その他	
20	単	人事評価シス テムの拡充事業	総務課	①町立病院、きくすい荘(町立特別養護老人ホーム)にパソコン等を増設し、職員の「人事評価システム」を拡充することで、接触機会(接触者数)を低減し、感染拡大防止を図るとともに、行政自らがIT化を推進することにより町全体のデジタル化をリードする。 ②パソコン、プリンター等の周辺機器の購入及び配線工事の経費を交付対象経費とする。 ③・和水町立病院 ・和水町特別養護老人ホームきくすい荘	R2.9	R3.2	1,367,000	1,303,500		1,303,500		パソコン等を増設し、職員の「人事評価システム」を拡充することで、接触機会(接触者数)を低減し、感染拡大防止を図るとともに、行政自らがIT化を推進することができた。
21	単	議会中継シス テムの拡充事業	総務課	①町立病院、きくすい荘(町立特別養護老人ホーム)に議会中継システムを導入し、「議会中継システム」を拡充(傍聴者の分散)することで、感染拡大防止を図るとともに、行政自らがIT化を推進することにより町全体のデジタル化をリードする。 ②役場本庁舎から上記2施設へ議会中継を配信するための機材、ケーブルの購入及び設定調整経費を交付対象経費とする。 ③・和水町役場本庁舎 ・和水町立病院 ・和水町特別養護老人ホームきくすい荘	R2.9	R3.2	1,672,000	1,607,331		1,607,331		議会中継システムを導入したことにより、傍聴者の分散を図るとともに、感染拡大防止を図ることができた。また、多くの方の議会への関心が向上した。
22	単	オンライン会議 環境整備事業	総務課	①行政機関各所にオンライン会議の機器を配備し、接触機会を低減することで感染拡大防止を図るとともに、行政自らがIT化を推進することにより町全体のデジタル化をリードする。 ②インターネットに接続可能なパソコン、プリンター等の周辺機器、インターネット接続用ルーターの購入及びインターネット環境の構築経費を交付対象経費とする。 ③・役場本庁舎 ・役場三加和総合支所 ・中央公民館、三加和公民館 ・町立神尾保育園 ・和水町立病院 ・和水町特別養護老人ホームきくすい荘	R2.9	R3.3	5,093,000	5,045,700		5,045,700		コロナ禍において、集合研修からWeb会議に移行する機会が多くなっているなかで効果を発揮している。今後の業務効率向上にも期待する。
23	単	避難所等の整備 事業	健康福祉課 総務課	①町が開設する公共施設の避難所(中央・三加和公民館等)に加え、各行政区公民館を自主避難所とする(可能な限り多くの避難所を開設する)ために必要な備品等を整備し、適切に受け入れられる体制づくりを行うとともに、避難先を分散し、感染症の拡大防止を図る。 ②町が開設する公共施設の避難所に加え、各行政区公民館での分散避難(3密回避)を行うために追加的に必要な備品等の整備並びに備蓄倉庫を確保する。 ③・各行政区の公民館:公民館総数83カ所 ・町防災計画記載の公共施設の避難所	R2.9	R3.3	14,796,000	13,608,914		13,608,914		災害時の避難所における密を避けるために、これまでよりも多くの避難所を開設する必要がある。そこで、避難誘導のための投光器や非常用発電機のない避難場所に蓄電池を整備した。このことにより、大雨や台風の際、避難所における避難者の安全安心につながった。

単位:円

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	計画上の 総事業費	総事業費 (実績額)				効果検証
									国庫 補助額	交付金 充当額	その他	
24	単	避難所感染防止対策空調機整備事業	社会教育課	①避難所運営において、高齢者、乳幼児など、空調が必要な災害弱者用の避難所空間を創出し、3密対策や熱中症対策を徹底する。 ②空調機整備費用を交付対象経費とする。 ③町体育館、スカイドーム2000(町体育館)	R2.9	R3.2	4,000,000	3,766,400		3,766,400		災害時の避難所となる体育施設の一室に空調機を整備。高齢者や乳幼児等、空調が必要な災害弱者用の避難所空間を創出したことで、3密対策や熱中症対策を図れた。
25	単	移住定住促進事業	まちづくり推進課	①新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、テレワークやサテライトオフィス等の推進により、都市部から地方への移住が加速することが予想されることから、移住・定住相談の支援窓口機能や、テレワークに対応したサテライトオフィス機能を持つ施設を整備し、移住・定住者の増加を促す。 ②施設改修費、備品購入費等 ③道の駅ロマン館敷地内に整備	R2.9	R3.9	24,341,000	22,902,023		15,587,836	7,314,187	道の駅さくすい内に、移住・定住相談の支援窓口機能やテレワークに対応したサテライトオフィス機能を持つ「移住定住支援センター」を整備した(R3.10.1開設)。 移住相談(暮らし、仕事、子育てなど)や空き家バンクといった、移住・定住関連支援窓口を一元化することで利便性が向上するとともに、利用者の増加、情報発信の強化につながった。 【相談件数】 開設前:208件(R3.4~9月)、月平均34件 開設後:289件(R3.10~R4.2月)、月平均57件
26	単	お試し暮らし住宅の整備	まちづくり推進課	①新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、テレワークやサテライトオフィス等の推進により、都市部から地方への移住が加速することが予想されることから、長期滞在型のお試し暮らし住宅を整備し、移住希望者に町の魅力を体験してもらうことで、移住・定住者の増加を促す。 ②施設改修費、備品購入費 ③町内空き家1棟を活用	R2.9	R3.10	4,959,000	4,959,000		1,802,135	3,156,865	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、都市部から地方への移住に関心を持つ人が増えている現状を好機と捉え、移住希望者に町の魅力を体験してもらうための「お試し暮らし住宅(空き家を活用)」の整備(改修)を行った。 令和2年度に引き続き、令和3年度も整備(改修)を行っており、令和4年度の利用開始を目指す。
27	単	和水町子育て世帯応援給付金	健康福祉課	①コロナ禍で経済的負担を抱えている子育て世帯に給付金を支給し、子ども達の健やかな成長を支援する。 ②現金給付(子ども1人につき、25,000円) ※保護者等へ支給 ③和水町子ども医療費助成事業の認定を受けている保護者	R2.9	R3.2	32,895,000	31,973,407		31,973,407		コロナ禍で経済的負担を抱えている子育て世帯に給付金を支給し、子ども達の健やかな成長を支援した。給付対象者(子ども数)1,267人全員に給付をすることができた(給付率100%)
28	単	各種農業団体への販売促進対策	農林振興課	①コロナ禍で経済的負担を抱えている生産者団体が行う、時期作以降の収益を回復させるための販売促進を図る取組みに対して支援を行う。 ②販売促進を図る取組みの一部または全部に対する助成経費に充当する。 ③和水町生産者部会事業を受けている生産団体 冬春ナス部会、夏秋ナス部会、筍部会、苺部会、普通作部会、南関郷みかん部会、西瓜部会、みかん生産者部会、担い手協議会	R2.9	R3.2	2,000,000	1,600,000		1,600,000		マスク、手袋等の購入による衛生管理や販売戦略、農業者団体からの感染予防が図れ経営意欲を保てることができた。

単位:円

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	計画上の 総事業費	総事業費 (実績額)				効果検証
									国庫 補助額	交付金 充当額	その他	
29	単	森林経営安定対策支援交付金	農林振興課	①国産材の需要不振、長引く木材価格の低下等、社会的経済的要因が重なり、森林所有者の林業経営意欲が減退している中、新型コロナの影響を受け、更に木材価格が低下しており、適切な森林整備が滞り、森林の公益的機能の低下が危惧される。このため、コロナの影響による下落分を補助することで、森林所有者の森林整備に対する経営意欲の向上、森林整備の推進を図る。 ②1m3あたり2,500円の助成に要する経費に充当する。 ③認定林業事業体又は町内に住所を有するもので、伐採及び伐採後の造林の届出書にかかる適合通知書の交付を受け、町内で生産された木材の販売を行ったもの	R2.9	R3.3	2,250,000	459,780		459,780		1㎡あたり2,500円上限で644㎡(5,040本)が対象 新型コロナウイルスの影響による木材価格の下落分を補助したことにより、適切な森林整備推進、森林所有者の森林整備に対する経営意欲を保てることができた。
30	単	酪農及び肉用牛経営支援事業	農林振興課	①新型コロナウイルスの影響を受け、やむを得ず出荷調整を行う繁殖・肥育・酪農牛農家に対して掛り増し経費(飼料等)を支援し、経営意欲の向上、経営の継続を推進する。 ②酪農牛又は肉用牛1頭につき5,000円の助成に要する経費に充当する。 ③酪農牛又は肉用牛を飼養する町内に住所を有する畜産農家	R2.9	R2.10	14,280,000	14,280,000		14,280,000		牛1頭あたり5,000円で16件(2,856頭)が対象 新型コロナウイルス感染症により、出荷調整や収入減少等の影響を受けた畜産農家に対し、飼料等の経費を補填することで、経済的負担を軽減することができ、営農継続を可能とした。
31	単	商品券・旅行券	商工観光課	①購入額にプレミアム分を上乗せしたプレミアム付き商品券を発行し、地域経済再生のきっかけを創出する。 食事券と観光バス利用券は、業績が著しく悪化している業種を集中支援することを目的とする。 ②上乗せしたプレミアム分及び事務費を交付対象とする。 ③和水町商工会 (町民及び町内に勤務されている方を対象に販売)	R2.9	R3.3	10,000,000	9,126,000		9,126,000		プレミアム付商品券(共通券、食事券、観光バス利用券)を販売し、プレミアム分及び事務経費等を商工会に交付した。使用期間を11月7日から令和3年1月17日までとし町内の登録店舗112店舗のうち78店舗で25,388,000円が使用され、町内の経済が活性化された。
32	単	地域の魅力磨き上げ事業	商工観光課	①Go To Travelキャンペーンやコロナ収束後の観光客増加を見据え、設置が進んでいない町観光施設にフリーWi-Fiを整備し、観光客の利便性向上を図るとともに、他自治体との競争力強化を図り、観光客増加につなげる。 ②工事請負費(民家村・ロマン館・三加和温泉・緑彩館)、役務費(初期費用)(金栗生家、田中城跡は役務費で設置) ③肥後民家村、菊水ロマン館、三加和温泉、緑彩館、金栗生家、田中城跡	R2.9	R3.11	18,188,000	15,262,321		10,410,921	4,851,400	肥後民家村、菊水ロマン館、三加和温泉、緑彩館、金栗生家、田中城跡にフリーWi-Fi環境を整備し、観光客等の利便性が向上したことで、今後(コロナ収束後)の和水町への誘客が期待できる。

単位:円

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	計画上の 総事業費	総事業費 (実績額)				効果検証
									国庫 補助額	交付金 充当額	その他	
33	単	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援補助金	商工観光課	①町内の事業者が新型コロナウイルスの感染防止のため、3密回避や「新しい生活様式」に適応した事業形態に取り組むために必要な設備導入等に対し補助する。 ②設備導入やシステム構築等に要する経費に充当する。 ③町内事業者	R2.9	R3.3	9,283,000	9,021,200		7,134,000	1,887,200	町内事業者を対象に新型コロナウイルス感染防止のため3密回避や「新しい生活様式」に適応した事業形態に取り組むために必要な設備導入等を実施。事業者102件に対し、9,021,000円の補助金を交付した。事業者の新型コロナウイルス感染防止対策及び負担軽減が図られた。
34	単	感染拡大防止対策持続化事業	商工観光課	①指定管理者制度を導入している公共施設（観光施設）に検温カメラシステムを整備し、感染拡大対策の強化を図る。 ②検温カメラシステムの購入費に充当する。 ③町内指定管理施設（観光施設）	R2.9	R3.1	3,534,000	1,525,110		1,525,110		菊水ロマン館、和水平田川カヌー・キャンプ場、三加和温泉交流センター及び緑彩館の出入口にサーマルカメラ、及びタブレット型カメラを設置した。各施設の利用時の検温により感染拡大防止に効果的であった。
35	単	文化芸術・スポーツ・コンテンツビジネス	商工観光課	①コロナ収束後を見据えた観光誘客を促進するため、和水平町を拠点とするランニングコースや周辺観光スポットに興味・関心を抱かせるようなバーチャルランニング動画（PR動画）を製作し、ファンランナーを中心としたスポーツ愛好家に向けたプロモーションを早期に実施する。 ②バーチャルランニング動画兼PR動画の制作に係る委託料 ③地方公共団体	R2.9	R3.3	2,750,000	2,750,000		2,750,000		プロランナーを起用し金栗四三生家を拠点とするランニングコースを走ってもらい和水平町内の観光スポットを中心に魅力的なバーチャルランニング動画兼観光PR動画を制作した。SNSを活用し和水平町のPRを行いコロナ終息後の誘客に期待できる。
36	単	ジョギングコース外灯設置事業	社会教育課	①新しい生活様式を取り入れた感染防止と、昼夜を問わない3密回避の健康増進を図るため。 ②ジョギングコース沿いの外灯設置費を交付対象経費とする。 ③町総合グラウンド	R2.9	R3.8	27,950,000	22,261,545		15,629,198	6,632,347	令和2年度に改修された和水平町総合グラウンドにおいて、昼夜を問わず利用できるよう、ジョギングコース沿いに外灯の設置を行なった。夜間の利用を促すことで、新型コロナウイルスの感染対策（密集対策）をしながら、町民の健康増進に期待できる。
37	単	金栗四三翁オンラインマラソン大会	社会教育課	①金栗四三翁マラソン大会の代替えとしてオンラインマラソン大会を実施し、金栗四三翁の顕彰と町のファンづくりによる地域活性化を図るため ②オンラインマラソン大会開催費用を交付対象経費とする。 ③オンラインマラソン大会参加者（1000人限定）	R2.9	R3.3	2,220,000	2,188,120		2,188,120		金栗四三翁マラソン大会の代替えとして、全国各地で参加できるオンライン型のマラソン大会（1,000人規模）を実施した。また、入賞者等に特産品を送り、地域活性化や町のファンづくりが図れた。
38	単	オンライン成人式	社会教育課	①感染拡大により帰省できない、成人式に参加できない新成人、恩師、保護者がオンラインで成人式に参加できる仕組みを構築し、3密回避による感染拡大防止を図るため ②感染拡大防止対策を徹底した成人式を補完するオンライン成人式の開催費用を交付対象経費とする。 ③オンライン成人式参加者（会場：三加和公民館）	R2.9	R3.2	743,000	382,800		382,800		コロナ禍で成人式に出席できない新成人向けにオンライン配信を実施。また、新成人保護者に対し別室から観覧できるよう中継配信を実施した。オンライン成人式の仕組みを構築し、感染防止を図ることができた。

単位:円

No	補助・単独	交付対象 事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	計画上の 総事業費	総事業費 (実績額)				効果検証
									国庫 補助額	交付金 充当額	その他	
39	単	コロナ禍の逆境から回復するためのスポーツ振興事業	社会教育課	①コロナ禍の逆境に負けずにがんばる子供たちや郷土出身のスポーツ選手等を応援し、人材育成と郷土愛の醸成を図るため ②郷土出身スポーツ選手と子供たちとの交流費用を交付対象経費とする。 ③実技指導参加者、交流会参加者、試合観戦参加者	R2.9	R2.12	435,000	304,400		304,400		公式試合や練習試合の中止が相次ぎ、モチベーション維持が難しい子どもたちに、コロナ感染防止対策を徹底しながら、バスケットボールの試合観戦・実技指導、サッカーの実技指導を実施した。併せて金栗四三の生家を案内した。地元プロチームの応援、郷土愛の醸成が図れた。
40	単	窓口対応備品の整備	税務住民課	①窓口対応時の感染(接触感染)防止に必要な設備の導入 ②手数料自動精算機設置2台(本庁・支所)、自動消毒噴霧器設置30台(窓口業務時及び庁舎出入口) ③役場本庁、総合支所に設置	R2.9	R3.1	4,260,000	4,070,000		4,070,000		自動消毒噴霧器購入においては従来の手動型からみて容器に触れずに噴霧できるので十分な感染予防ができた。自動精算機においても金銭を本人しか取り扱わないということで対応職員とのやり取りがなくなり十分な感染予防対策となった。
41	単	公共施設の環境整備(蛇口の自動水栓化)	総務課	①感染(接触感染)防止に必要な設備の導入 ②トイレ内自動手洗い機の整備(蛇口の自動水栓化) ③対象者:町民、職員などトイレの利用者 対象施設:役場本庁(22基)、中央公民館(9基) 三加和公民館(20基) 合計51基のトイレ内の蛇口	R2.9	R3.2	5,049,000	4,928,000		4,928,000		水栓化が未導入であった、役場本庁、中央公民館、三加和公民館、3施設のトイレ手洗い場蛇口の自動水栓化を実施。 非接触型とすることで、接触による感染を防ぐことができた。
42	単	公共施設の環境整備(音響設備の導入)	総務課	①会議等における感染(飛沫感染)防止をはじめ、3密対策に必要な設備の導入 ②マイク、デジタルミキサー等の音響設備の導入 ③対象者:会議室利用者 対象施設:役場本庁大会議室	R2.9	R3.2	2,109,000	2,057,000		2,057,000		会議室におけるマイク、スピーカー等の音響設備を整備。 広範囲に音を届けることができるため、会議時における密集を防ぐことができた。また、発言者の声量を抑えることができ、飛沫防止にもつながった。
43	単	公共施設の環境整備(自動ドア設置)	住民課	①感染(接触感染)防止に必要な設備の導入 ②正面玄関の扉を自動化(自動ドア設置) ③対象者:全町民 対象施設:三加和総合支所	R2.9	R3.1	2,789,000	2,706,000		2,706,000		新型コロナウイルス感染症対策のため、施設の正面玄関を手動のドアから自動ドアに設置することで、利用時ドアノブからの感染予防対策が図れた。
44	単	公共施設の環境整備(網戸の設置)	社会教育課	①定期的な換気による感染予防に必要な設備の整備 ②町有施設のうち網戸未設置施設への網戸の設置費用を交付対象経費とする。 ③対象施設 総合支所、中央公民館、三加和公民館(保健センター含む)、町体育館	R2.9	R3.3	5,598,000	4,961,000		4,961,000		新型コロナウイルス感染症対策のため、施設内に網戸を設置することで、利用時に換気を徹底する予防対策が図れた。
45	単	病院事業会計繰出金(地域の感染状況を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業)【2次補正分】	町立病院	①診療体制の確保や院内感染を防止するため。 ②病院事業会計に繰り出し、感染拡大防止に必要な機器等の整備に要する費用を交付対象経費とする。 ③町立病院	R2.9	R3.3	38,203,000	38,198,000		38,198,000		新型コロナウイルス感染症患者受入れのための病棟医療ガス整備を実施した。医療ガス整備を実施したことにより新型コロナウイルス感染症患者に対応することが可能になった。この他、空気清浄器等を購入し感染拡大防止が図れた。

単位:円

No	補助・単独	交付対象 事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	計画上の 総事業費	総事業費 (実績額)				効果検証
									国庫 補助額	交付金 充当額	その他	
46	単	公共的空間安全・安心確保事業(特別養護老人ホーム事業会計繰出金)【2次補正分】	町立特別養護老人ホーム	①「施設内で利用者が感染した場合に濃厚接触者等を隔離することによる他の利用者への感染拡大防止」及び「町内又は施設内で感染者が発生した場合の職員への感染防止」を目的とした施設整備等。 ②特別養護老人ホーム事業会計に繰り出し、感染拡大防止に必要な機器等の整備に要する費用を交付対象経費とする。 ③町立特別養護老人ホーム	R2.9	R3.3	40,353,000	28,903,545		28,903,545		マスク、手袋等の購入による衛生管理に加え、介護入浴機器や自動水栓、検温システム等の設備を導入し、入所者および施設職員の感染予防が図れた。施設からの発生は0名となっている。
47	単	学校保健室等衛生管理用品購入事業	学校教育課	①コロナ対策として、小中学校保健室等における衛生管理等に必要の用品を購入し、感染拡大防止を図る。 ②衛生管理等の消耗品・備品の購入費用 ③町立小中学校4校	R3.1	R3.3	550,000	268,750		268,750		対象 町内小中学校4校 小中学校保健室等における衛生管理等に必要の用品を購入することで、感染拡大防止が図れた。
48	補	公立学校情報機器整備費補助金	学校教育課	①GIGAスクール構想の実現のため、GIGAスクールサポーターを配置し、学校のICT化を円滑に進められるようにするため ②GIGAスクールサポーター委託料 ③町立小中学校4校	R3.1	R3.3	660,000	660,000	330,000	330,000		GIGAスクールサポーターを配置し、1人1台端末の納入時の確認、納入後の初期サポートを実施することで、学校の負担を大きく減らすとともに、臨時休業時のオンライン授業のための環境整備ができた。
49	単	遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGAスクール構想への支援事業(通信環境の整備)	学校教育課	①GIGAスクール構想に対応した通信環境の整備とし、各学校から直接光回線を整備するため ②初期導入費用(工事費等)及び回線費用 ③菊水小、菊水中、三加和中	R3.1	R3.3	160,000	92,167		92,167		各学校から直接インターネット回線へ接続することにより、速度の高速化が図られ、GIGAスクール構想(オンライン授業等)を支えるための通信環境の整備ができた。
50	単	公共施設的环境整備(移動型ポータブルアンプの導入)	総務課	①避難所や会議室、体育館等における感染(飛沫感染)防止をはじめ、密集、密接を防ぐなど3密対策に必要な音響設備の導入。 ※会議や説明会等においてソーシャルディスタンスを確保しつつ、最後列の方にも声が聞こえるよう導入するもの。 ②移動型PA(ポータブルアンプ)機器の購入費 ③対象者: 避難者、会議室利用者、町民 対象施設: 各避難所、会議室、体育館等	R3.1	R3.3	1,892,000	1,089,000		1,089,000		各種説明会や簡易イベントにおいて、人同士の適度な間隔を確保し、大きい声を出さずに開催することができ、感染防止につながることができた。
51	単	公共施設的环境整備(ベルト式パーテーションの導入)	総務課	①避難所をはじめ多数の人が集まる場において、人員の整理やスムーズな誘導を行うことで、密集・密接を防ぎ、感染拡大防止を図る。 ②ベルト式パーテーションの購入 ③対象者: 避難者、ワクチン接種者 対象施設: 各避難所、ワクチン接種会場等	R3.1	R3.3	594,000	594,000		594,000		人が集まるイベント等において、人の流れの動線を確保することで、適度な人との間隔を確保することができ、感染防止につながることができた。

単位:円

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	計画上の 総事業費	総事業費 (実績額)				効果検証
									国庫 補助額	交付金 充当額	その他	
52	単	公共施設の整備 (プロジェクター の導入)	総務課	①避難所や会議室等における感染拡大防止のため、 プロジェクターを導入することで、密集・密接を防ぎ、 円滑な運営、利用者への連絡調整を行うことができる ※会議や説明会等においてソーシャルディスタンスを 確保しつつ、最後列の方にも情報(映像)が届くよう導 入するもの。 ②プロジェクターの購入 ③対象者: 避難者、会議室利用者 対象施設: 各避難所、会議室等	R3.1	R3.3	604,000	594,000		594,000		会議室等において、広範囲の方に情報(映像)を周知 することができ、密集・密接による感染を防止するこ とができた。
53	単	新生活様式に適 合したイベント開 催用備品購入事 業	商工観光課	①3密回避や新しい生活様式に適応した野外イベント 開催に必要な備品等を整備し、観光誘客の促進や、 地域の活性化を図る。 また、肥後民家村内の古民家をワーキングスペース として活用するため、3密対策や新しい生活様式に必 要な備品等を整備し、町内外住民におけるテレワーク の推進を図る。 ②3密対策や新しい生活様式に必要な備品等の購入 費に充当する。 ③町観光施設(肥後民家村)	R3.1	R3.3	3,987,000	2,895,552		2,895,552		観光施設である肥後民家村一帯において新しい生活 様式に対応した野外イベント開催に向けサーモカメ ラ、音響設備等を整備した。また、休憩スペースには ワーキングスペースとして活用できるよう会議用机、 椅子、照明器具等を整備し、集客の増加と感染拡大 防止が図られた。
54	単	学校保健特別対 策事業費補助金 (単独上乗せ分)	学校教育課	①小中学校における3密対策や衛生対策に必要な資 材を整備し、感染拡大防止を図るとともに、新型コロ ナウイルスの影響により生じた負担の軽減を図る。 ②学校再開に伴う感染症対策・学習機会確保等の取 組みに要する経費 ③町立小中学校4校	R2.9	R3.1	558,000	558,000		558,000		対象 町内小中学校4校 小中学校における3密対策や衛生対策に必要な資材 を整備することで、感染症対策・学習機会の確保が図 れた。